

科目名：言葉（指導法）Ⅱ (必修2単位)		担当教員： 秋田敏博 担当形態： 単独	使用テキスト：出版社名・テキスト (担当教員の自主制作教材)「言葉の発達」	
科目	領域及び保育内容の指導法に関する科目		施行規則に定める科目 区分又は事項等	保育内容の指導法（情報機器及び教材 の活用を含む。）
<p>授業の到達目標及びテーマ：</p> <p>幼児の言葉に関する現状や課題を踏まえた上で、幼稚園教育要領に示された領域「言葉」のねらい及び内容について背景となる専門領域と関連させて理解を深める。その上で、幼児の発達に即して、主体的・対話的で深い学びが実現する過程を踏まえて、具体的な指導場面を想定して保育を構想する力を身に付ける。また、「絵本のある子育てを支援できる保育者であること」を踏まえ、言葉や心の発達に果たす役割や絵本を選ぶ知識、読み聞かせをする技術を身に付ける。</p>				
<p>授業の概要：</p> <p>絵本が未就学児の言葉の発達及び心の発達に果たす役割を理解するために参考資料などを活用した講義を主体とした授業を行う。また、対象年齢に応じて、適切な絵本を選ぶ知識を身に付けたり、絵本を子どもが楽しめるように読み聞かせする技術を身に付ける。</p>				
回	項 目	内 容		
1	子どもの言葉を豊かにする教材 ： 児童文化財	親、保育者による絵本の読み聞かせと未就学児の言葉や心の発達について理解する。絵本・物語・紙芝居などの実際と保育の中での生かし方について学びを深める。		
2	言葉に対する感覚を豊かにする実践 ： 言葉遊び	言葉遊び（しりとり、言葉集め等）の実際と保育の中での生かし方について理解する。		
3	絵本の読み聞かせの基本	講師による読み聞かせを鑑賞し、絵本のもち方、開き方などの基本を知り、演習を行う。		
4	絵本を知る	グループワークにより、絵本の主題及び対象年齢を特定する演習を行う。		
5	絵本の子どもへの影響	グループワークにより、幼稚園での実習の振り返り、絵本と子どもとの関係に対する理解を深める演習を行う。		
6	絵本の読み方	グループ毎に課題絵本の効果的な読み方を考え、ワークシートを完成させる演習を行う。		
7	模擬保育	前時に完成したワークシートに従って、各グループ毎に代表者が課題絵本の読み聞かせを披露し、これに対する評価、質疑応答など模擬保育に対する振り返りをする。		
8	保育者のかかわり	演習を振り返り、保育者が保護者に対して絵本の価値を伝える意義について理解を深める。		
9	読み聞かせ会のプログラム 立案・実施	グループ毎に、「夏休み」、「十五夜」等の季節感のあるテーマに基づいた絵本の読み聞かせ会のプログラムを作成する。		
10	模擬保育	前時に完成したプログラムに従って、グループ毎に読み聞かせの実演をし、これに対する評価、質疑応答など模擬保育に対する振り返りをする。		
11	子どもの言葉を育む保育の実際	保育実践もしくは模擬保育に向けての保育観察と教材研究をする。読み聞かせの充実を図り絵本以外の演目についての教材研究をする。		
12	読み聞かせのプログラムの 立案・実施	個人でプログラムを考えながら立案する。		

13	プログラムの実施及び発展	前時で考えたプログラムを実演し、評価や質疑応答など振り返りをする。
14	絵本の子どもへの影響・発展	グループワークにより、保育園での実習を振り返り、子どもと絵本との関係についての理解を深める。
15	まとめ：子どもの言葉を育み、豊かにする保育実践	「言葉」を巡る現代的課題と特別な配慮が必要な幼児への指導を踏まえた「言葉」に関わる保育を実践する。
	期末試験は実施しない	
参考書・参考資料等： 様々な絵本、幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領		
学生に対する評価方法： 演習に積極的に参加する態度及び絵本の読み方・読み聞かせ会のプログラム考案の技量などを総合して評価する。		